

電機・情報ユニオン

2017年1月10日 第64号
 発行 **電機・情報ユニオン**
 〒142-0043 東京都品川区二葉
 2-20-8染野ビル2F
 Tel03-6421-5323、Fax03-6421-5324
 Email: denkiunion@gmail.com

国際労働基準の遵守を求める運動を



森英一中央書記長

新年あけましておめでとうございます。

新しい年をどのような気持ちで迎えましたか。

米田徳治中央執行委員長

日立、東芝の労働者の相談会が昨年末ぎりぎりまで続きました。

「米投資ファンドのコーポレート・クラブ・ロバート（KKR）が日立工機を買収」「ニコン1月末から1000人の削減」などのニュースが電子版で配信されています。

今年も、電機リストラの闘いが続く年になり、私たちが掲げている「雇用をまもり地域経済をまもる」「職場の自由と民主主義を確立」する運動をいっそう重視して取り組まなければならないと。

そんな気持ちで、1月1日恒例の高尾山宣伝行動に

35万人を超えた

電機リストラ

参加しました。

森 電機産業の状況や電機リストラの特長について触れていただけませんか。

米田 昨年9月に開いた第6回大会で「2016年の電機産業の世界輸出総額は、リーマンショック時を下回り、8兆5千億台（JEITA発表値を元に独自試算で前年比1兆円のダウン）」

「電機リストラはやむ気配がない」と、リストラ人数が33万人を越えたことを発表しました。ところが、2016年度第二四半期決算を見ると、日立が上期だけで2万2412人も削減されています。

電機各社は2020年に向け中期計画を策定していますが、売上が落ちて営業利益（率）だけは10%目標確保で、労働者への身勝手なリストラ策で乗り切ろうというもので、とても許

原発事業には

未来がありません

せません。

2016年3月27日(日)

電機大リストラに反撃する学習決起集会



森 東芝の粉飾決算が明らかになり、昨年2月に東京・青梅で、3月には神奈川・川崎で集会を持ちました。

米田 緊急の取り組みですが、多くの人の関心を引き、東芝の粉飾決算の本質や、原発事業には未来がないこと、世界の科学者と協力した廃炉技術開発が緊急に求められていることを明らかにしました。

東芝の粉飾決算は、2007年から経営幹部みずから手を染めたものですが、三代の社長や一部幹部だけの責任追及だけではすまない。幹部社員の責任追及は現場で殆どされていない。

しかも、東芝の財務責任者は「第二四半期の経営赤字はリストラ効果（547億円）と一時金などの労働条件の切り下げ（445億円）で営業損益を確保した」と説明し、「労使協議はまだ行っていないが継続して進める」と、アナリストの質問に答えています。

昨年末に原発事業の巨額損が発表されました。東芝のアメリカでの政治献金は、2016年160万ドル（15年は、205万ドル。さすがに日本での自民党・国民政治協会への献金はゼロで、2014年は日立と同様2850万円）。

原発事業には未来がありません。すぐに撤退すべき

第64号の紹介

- 1面 米田委員長の新春インタビュー
- 2面 米田委員長の新春インタビュー
- 3面 NECとたたかう潮さんを励ます集い
大いに語り合い歌った芋煮会東京支部
- 4面 交流のひろば、告知板